鉄道コレクション対応　点灯化キット　阪神5500系対応

HS-5500　ライトユニット　説明書

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。

本キットは、以下の車種に対応します。
・阪神5500系原色（2018年発売）
・阪神5500系リニューアル車（2018年発売）

本キットは、トレーラー車専用です。
動力ユニット付き車に使用すると、チラツキ対策を施していないため、前進時にテールライトが、後進時にヘッドライトが、チラチラと点灯してしまいます。

注意
・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
・車両は必ず直流（DC）12V以下で運転してください。交流（AC）は絶対に使用しないでください。
・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】
・ヘッドライトユニット　：　1個/セット
・テールライトユニット　：　1個/セット
・ヘッドライト電球色化用アンバー色フィルム　：　1枚/セット

【その他】
・説明書（本紙）　：　1枚
・導電性アルミテープ（15mm×約120mm）　：　3枚/箱

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】
・カッティングマット
・ピンセット
・ニッパ
~~・プラスドライバー~~
・両面テープ
~~・木工ボンド~~
・ポリエステルテープ（ニチバン「マイラップ」，セメダイン「ラピー」など）
・カッターナイフ（デザインナイフが望ましい）
・楊枝，綿棒など
~~・ピンバイス（0.3mm，0.5mm，0.8mm，1.0mm）~~
~~・精密ヤスリ（平、丸、半丸など）~~
・ゴム系接着剤
~~・プラモデル用接着剤~~
・直定規
・塗装面を保護する柔らかい布
~~・ポンチ（プッシュピンなどでも可）~~
~~・サンドペーパー~~
~~・マスキングテープ~~
・瞬間接着剤
・遮光用の塗料（黒または銀）

●取り付け手順

1. 分解する

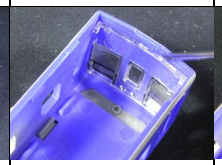
1−1　床板を外す

車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。

1−2　側窓を外す

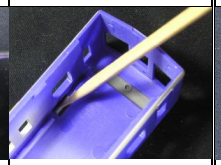
側窓を外します。前面透明パーツとの嵌み合部をコジって外します。

1−3　前面透明パーツを外す



前面透明パーツは、ボディとの隙間を精密ドライバーなどでコジって外します。

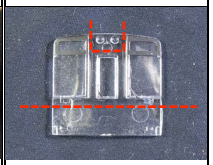
1−4　屋根を外す



両サイドのツメを楊枝などで押して、屋根を外します。

2. 車体を加工する

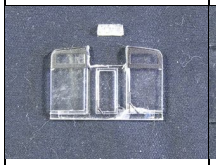
2−1　前面透明パーツを加工する



ヘッドライト部分は、前面窓・貫通扉窓の直近で凹型に切り取ります。
テールライト部分は前面窓の下約1mmで切り取ります。テールライトは使用しないので保管します。

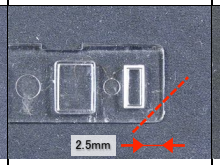
3. 床板を加工する

(2−1つづき)



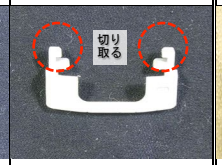
ヘッドライト部分は、四周をレンズの直近で切り取り小さくします。
前面窓は、切断面を整えます。

2−2　側窓を加工する

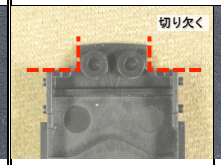


側窓前端を、前端から2.5mmの位置から45度の線でカットします。

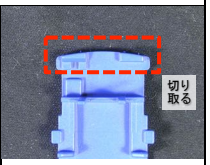
2−3　スカートを加工する



スカートの両サイドのツメを、0.5mmほどを残して切り取ります。
スカートは、床板に取り付けられなくなるので、ゴム系接着剤でボディに固定します。



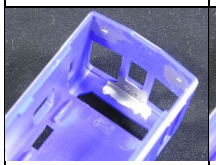
床板前端の両サイドを切り欠きます。
枕木方向はダミーカプラーの取付け穴まで、線路方向はTNカプラーの台座の手前まで切り欠きます。



シート前端の運転台機器より前の部分（約2mm）をカットします。

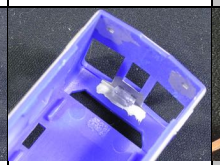
4. ライトユニットを取り付ける

4−1　ライト周辺を遮光する



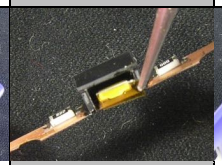
ヘッド・テールライト周辺のボディ内側（及びレンズの穴の中）を銀（又は黒）の塗料で遮光します。光にかざして、塗りムラのないことを確認します。

4−2　ヘッドライトレンズをはめる



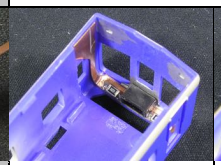
ヘッドライトレンズをはめ、両面テープ片で固定します。

4−3　ヘッドライトを電球色にする

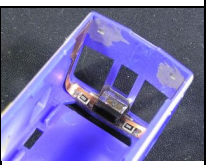


ヘッドライトを電球色にする場合は、付属のアンバー色のフィルムをヘッドライトユニットにはめ、瞬間接着剤（又は木工ボンド）で固めます。

4−4　ヘッドライトユニットを取り付ける



ライトユニットをはめ、両面テープで固定します。



下側への光漏れを防ぐために、4.5mm×3mmのポリエステルテープを、黒いボックスと妻面の間に貼ります。

5. 配線する

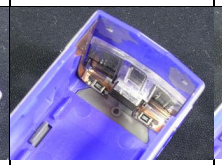
(4−4つづき)

上側への光漏れを防ぐために、4.5mm×3mmのポリエステルテープを、黒いボックスと屋根の断面の間に貼ります。

4−5　前面窓をはめる

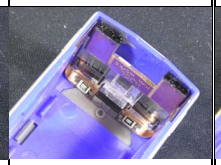
前面窓ガラスをはめ、両面テープで固定します。

4−6　屋根をはめる



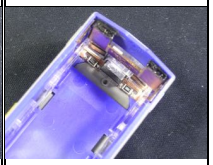
屋根をはめます。
この段階で点灯テストを行い、光漏れがある場合は、ポリエステルテープを重ね張りするなど対策を施します。

4−7　テールライトユニットの取付

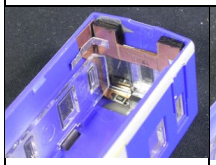
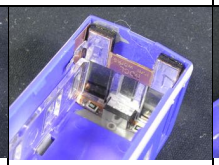
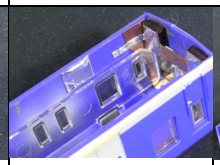
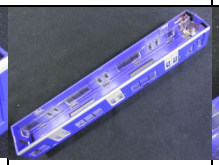
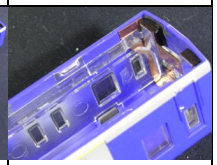


テールライトユニットをはめ、両面テープで固定します。

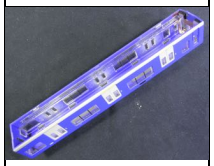
5−1　側窓をはめる



側窓をはめます。

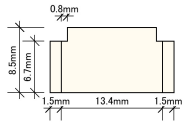
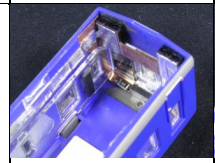
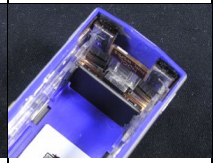
5−3 テールライトへ配線する		5−4 側窓下の凸部にアルミテープを貼る		5−5 側窓下をアルミテープで結ぶ
				
1.5mm × 10mmのアルミテープで、側窓下部からテールライトの給電パッドまで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	テールライト給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm × 5.5mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	床板との嵌合部の凸部に、5mm × 5mm のアルミテープを貼ります。テープの先端が車体裾に接するように貼ります。	車体の四隅の嵌合部に貼ります。	室内灯も取付ける場合は、この作業は室内灯の取付後に行ないます。

(5−5つづき)



3mm × 112mmのアルミテープを使って、側窓下端に沿って、ライトユニットへの配線、前の嵌合部、後の嵌合部を接続するように貼ります。
※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

●乗務員室仕切りを取付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1 桟を取り付ける	2 仕切りを取り付ける
乗務員室仕切り 型紙  		
0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 (遮光に適した黒いプラ板を分売しています)	乗務員室仕切りの桟を、乗務員室扉後部の壁の中央に、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、前側の切口までL字形に貼っておきます。	乗務員室仕切りを、桟の前側に設置します。

HS−5500 説明書 1.00
2018/10/29 1.00 初版

補修用にアルミテープ等を分売しています。
ism−works.shop−pro.jp をご覧ください。

《お問い合わせ先》
イズムワークス・直売所
〒249−0002 神奈川県逗子市山の根1−5−15, 店舗営業はしていません。
phone：0468−27−7261, 10:00〜18:00 土日祝休業, e−mail：shop@ism−works.shop−pro.jp.

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp